

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-2-1	4-4-3	事業名	中央体育館改築事業			
担当	観光文化局スポーツ部施設課 野澤						211-3045
全体計画							
事業内容	中央体育館の老朽化が著しく耐震補強も必要なことから、近年の多様なスポーツニーズに対応し、多くの市民に利用しやすい施設を目指して、改築に向けた事業計画の策定や調査を実施する。			<年度別の事業内容>			
				平成19年度～平成21年度	事業計画の策定		
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	立案、調査 (予算配分なし)			事業計画の策定 (予算配分なし) スポーツ部内部でプロジェクトを立ち上げ、改築に向けた調査及び建設規模等を検討していく。			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
整備計画策定と調査実施		-	立案、調査	調査、建設規模等の検討	調査、建設規模等の検討	調査完了	計画策定と調査完了
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 改築に向けた(パブリックコメント)の実施検討</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-2-1	4-4-3	事業名	中央体育館改築事業		
評価(成果)			課題			
平成19年度は、中央体育館改築事業を第2次新まちづくり計画に掲げ、事業の立案、調査を行った。			現中央体育館は築40年を経過し、今もなお、躯体、設備等の老朽化が進んでいるため、利用者の利便性及び安全な供用の観点からも早期の改築が望まれる。			
今後の事業の予定・方向						
平成20年度～平成21年度	スポーツ振興審議会の答申に基づいた調査・検討 建設地の検討 民間公募(プロポーザル)の検討					
平成22年度	調査					
平成23年度	地質調査 用地取得(必要な場合)					
平成24年度	実施設計					
平成25年度	改築工事					
平成26年度	改築工事 既存体育館解体工事实施設計 既存体育館解体工事					
上記は、移転改築を想定した場合 現在地での改築の場合は、用地取得は不要となり、改築に先立って既存施設の解体工事を実施する。ただし、改築期間中(概ね3年程度)、中央体育館は閉鎖せざるを得ず、市民サービスの低下が生じる。(移転改築であれば閉鎖は不要である。)						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	-	-	-	-	-
	財源内訳					
	国・道支出金					
	市債 その他 一般財源					
予算	事業費	0	0	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債 その他 一般財源	0	0			0
実績	事業費	0	-	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債 その他 一般財源	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						